

土木学会中部支部「減災を学ぶ見学会」開催



土木学会中部支部では、大規模災害への備えに官・学・民協働で取り組む「中部地方巨大災害TF(タスクフォース)」を設立され、その一環として立山砂防事務所管内の見学会が開催されました。

- 開催日時:平成25年9月11日
- 参加者:35名(うち学生4名)



見学終了後、辻本教授(名古屋大)による総括



真剣な眼差しで立山カルデラを見つめる大学生



現地見学の状況(六九谷展望台)

「歴史や教訓から減災を学ぶ」という趣旨に賛同した参加者のコメント

- ・「自然を少なからずコントロールすることで、下流域が保全されていることを見て感じた」
- ・「砂防工事により崩壊地が緑に覆われている様子を実感できた」
- ・「砂防工事の重要性や施設の詳細を知ることができた」